

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
言葉とコミュニケーション Language and Communication		全学科 (一般学生対象)	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	小河原 香代子	
概要				
異文化コミュニケーションの基本的な概念を学び、言語文化の違いについての問題意識を高め、円滑なコミュニケーションを図るために必要な力を身につける。				
到達目標				
(1) 異文化コミュニケーションの基本的な概念を説明できる。 (2) 異文化コミュニケーションにおける言語と非言語の抱える課題を認識した上で、課題を解決に向けた自分の意見を述べることができる。 (3) 言語文化の違いについての気付き、考え方を述べることができる。				
授業内容とすすめ方				
1. Introduction, Communication 2. Communication 3. Culture 4. Nonverbal Communication 5. Communicating Clearly 6. Culture and Values 7. Culture and Perception 8. Review Lesson1 - 7 9. Diversity 10. Stereotypes 11. Culture Shock 12. Culture and Change 13. Talking about Japan 14. Becoming a Global Person 15. Review Lesson 9 - 14				
* 1レッスン1Unitを目安としていますので予習、復習をしっかりとして授業に臨むこと。 * テキストの内容を理解した後、ペアワーク、グループワークでディスカッションを行います。				
テキストおよび 参考文献	Speaking of Intercultural Communication 異文化理解の英語コミュニケーション			
メッセー ジ な ど	英語でコミュニケーションを取る際に気をつけたい文化的背景や考え方を学ぶために、実際にペアワークやグループワークでコミュニケーションを取りながら行うアクティブラーニング型の授業です。テキストは英文で書かれていますが、ディスカッションは日本語で行っても構いません。互いに学び合う、積極的な授業参加を望みます。予習、復習が必要です。			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 異文化コミュニケーションの基本的な概念を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いなく、基本的概念を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本的概念を説明できる。	説明できていない。	定期試験（知識・理解・思考力・判断力・表現力）	30%
(2) 異文化コミュニケーションにおける言語と非言語の抱える課題を認識した上で、課題を解決に向けた自分の意見を述べるができる。	課題を正しく認識し、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	課題に対する認識に誤りや大きな論理的問題もなく、最低限の自分の考えを述べている。	課題に対する認識に間違いがいくつかあるが、最低限の自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。		40%
(3) 言語文化の違いについての気付き、考え方を述べるができる。	言語文化の違いについて、自分の気付き、考え方を明確に述べている。	言語文化の違いについて、認識に誤りや大きな論理的問題もなく、最低限の自分の気付き、考え方を述べている。	言語文化の違いについて、認識に間違いがいくつかあるが、最低限の自分の気付き、考え方を述べている。	自分の考えを述べていない。	授業内レポート（関心・意欲・思考力・判断力・表現力）	30%